

学校だより

天狗山のふもと 地域と共に育つ 学びあふれる学校



やまのて

学び合い ひびき合い きたえ合い

令和4年10月31日

第8号

小樽市立山の手小学校

小樽市花園5丁目2番20号

TEL 32-2200



自己肯定感が高く 強い子どもに

校長 日下部 匡彦

10月25日に小樽市PTA連合会と小樽市教育委員会が主催する「全市研究大会 兼 教育講演会」が行われ、北海道医療大学心理科学部 富家 直明 氏の「コロナ禍における子育て」の講演を聞く機会をいただきました。

「コロナが終息した後、子どもたちにどんな影響が出るかは予想がつかない」との言葉を聞き、心が重くなりました。本校の児童で考えても、運動時間の減少や体力の低下、肥満傾向など数値に表れる問題点や学校に来たがらない児童の増加など、たくさんの課題があります。また、うつ病になる児童の割合は、都道府県別に見ると北海道が一番多いそうです。児童と話をすると「うつ病の診断基準」9つの項目の内容のいくつか、合致していることに気付きます。また、「マシメすぎるとどうなるか？」の話では、完璧主義と抑うつの関係がわかりました。

さて、その対処方法ですが「柔軟な思考力=考え直す力を鍛えよう」というところにありそうです。

①願望と義務を区別しよう ②悲観を楽観に変えよう ③過去・未来ではなく現在を重視しよう など、人間関係では、小さなほころびがあっても大きな問題に発展させない。メンタルヘルスでは、自尊心を高く保ち、自分はだめ人間と考えない思考が大切ようです。

私は時間があれば各学級を回り、授業の様子を見に行きます。児童の発言の様子やノートに書いている内容や字を見ながら、学年に応じて児童を褒めます。どちらかと言えば、大げさなくらい褒めているのかも知れません。それは、子どもの気持ちを高める効果は、周りの人の声かけだと思っているからです。

大切なお子さんが健やかに過ごしていけるよう、保護者や地域の方・教職員の温かい声かけで、子どもの気持ちを高め、心の強い子どもを育てていきましょう。

学習発表会を終えて

10月15日土曜日に学習発表会を行いました。今年の学習発表会は、1日開催とはいえ、コロナ禍で人数制限や入れ替えがあり、兄弟姉妹がいる保護者の皆様には何度か入退場をしていただくことになり、お手をかけてしまいました。また、ソーシャルディスタンスから、後ろの席の方は見づらかったと職員からも反省があがりました。

通常の行事にもどりながらも、未だ制限がある中、各行事においては、来年度に向けた反省点が多々あります。

これから改善を図って参りますが、ぜひ、「こうしたら、もっと良くなる」と思われる行事の在り方や改善点がありましたら、学校評価の折などにアドバイスをいただくと嬉しいです。学校管理の上で、できることと、できないことはございますが、より良いものを創り上げるために、年度末には職員一丸となり検討したいと思います。



1年生の発表の様子



2年生の発表の様子



3年生の発表の様子



4年生の発表の様子



5年生の発表の様子



6年生の発表の様子

山の手小学校児童が選ぶ「ふるさと100選」

小樽の市制施行100周年記念事業として、ふるさと小樽のよさを再発見し、伝え合うことを目的とした「子どもたちが選ぶ『ふるさと100選』」が実施されます。

市内の児童生徒は、この事業に際し、校区に訪れる方に見てもらいたい場所を選び、写真とアピール文を考え、発表するという取組を行っています。（発表会は1月10日に予定されています）

すでに1年生から6年生までの全校児童にアンケートを取り終わり、「校区の紹介したい場所10選」を決定しました。また、松ヶ枝中学校生徒会と協議し、その中から重複しない5つを決定しております。

実行委員は、6年生から小林 蒼真さん・佐藤 友紀さん・本間 愛理彩さん・森 七彩さん。5年生から佐藤 愛叶さん・佐藤 遼空さん・大久保 壮希さん・小林 來海さんを選出し、発表の準備に入りました。山の手小の全校児童が選出した場所は写真のとおりです。



天狗山



山の手小学校



入船公園



最上公園



おこばち川

音読カップの開催について！

11月12日土曜日、3年ぶりとなる小樽市「第8回音読カップ」が開催されます。校内で予選会を開き、各学年の代表を決定しました。

- 第1学年代表 越智 月歌さん 「やくそく」
- 第2学年代表 塚田 花さん 「スイミー」
- 第3学年代表 菅野 真央さん
「ちいちゃんのかげおくり」
- 第4学年代表 荒又 梨乃さん 「ごんぎつね」
- 第5学年代表 渡辺 羽音さん 「たすねびと」
- 第6学年代表 本間愛理彩さん 「やまなし」

発表時間帯の目安は、

低学年	9:30~10:30
中学年	10:35~11:45
結果発表	12:10~12:30
高学年	13:00~14:15
中学生	14:15~15:35
結果発表	16:00~16:20



令和元年の音読カップ

※小樽市民会館で開催予定です。

公開研究会について

第4回山の手小学校公開研究会を11月18日（金）に開催いたします。本校は小樽の教育推進校として、国語の研究を公開・発信しております。今回の公開研究会は、小樽市教育委員会主催の「国語教育特別研修講座」も兼ね、東京から筑波大学附属小学校の 青山由紀 講師をお招きし、授業のアドバイスをいただいた上、示範授業及び講演会を行う予定です。

研究会当日は日課変更がありますので、24日に配布した「11月の日課変更」でご確認ください。

公開研究会について、ご不明な点がございましたら、学校までご連絡をお願いいたします。なお感染症の状況によっては、開催内容等の変更がございます。

■ 最優秀賞 受賞 ■

令和4年度『絆づくりメッセージコンクール』の標語部門で、山の手小学校児童会の作品が後志教育局内の審査において、団体部門の最優秀賞を受賞しました。作品は、

「大丈夫 その一言が 心を救う」
です。この後、全道のコンクールに代表作品として出品される予定です。

■ 長年のPTA活動に感謝 ■

11月23日（水）に小樽市PTA連合会主催の第75回教育功労者表彰式が行われます。

本校からは、松下PTA監査と大嶋学年研修部長が表彰されます。

BBがやってきた！

10月21日金曜日、日本ハムファイターズ関係者にご来校いただき、本校児童と交流していただきました。

ファイターズガールの山口さん・吉田さん（ぜひ、応援をお願いします）にキツネダンスを教えていただき、大塚選手・浅沼選手には、キャッチボールを見せていただきました。そして、代表児童がBBとキャッチボールをするなど、あっという間に楽しい一時が終わりました。
（※写真はピアノを弾くレアなBBさんです）

